

大歩危国見山スカイレース2022(第二回)

OFFICIAL PROGRAM

主催 四国スカイランニング協会

2022.11.27(sun)



REGIONAL CHAMPS
スカイランニング 地域選手権



REGIONAL SERIES
スカイランニング 地域シリーズ

Contents

大会概要	1 page
スケジュール	2 page
競技規則	3~7 page
コース図等	8 page
会場周辺図	9 page



[大会ホームページ](#)



[コース図・駐車場・会場図](#)

[Google map](#)



[スタートリスト](#)

皆様へ

この度は「大歩危国見山スカイレー2022」にお申込みいただきまして、誠にありがとうございます。本イベントの舞台となる国見山は、日本屈指の急峻な地形が特徴的であり、現在三好市がジオパーク構想を進めています。また今回のコースは古より往来があった国見山古道を使用しており、レースを通じてこの地域を体感していただければと思います。昨年に続き2回目の大会となる本イベントは、地元の方々の多大なご協力を得て開催に至っています。みなさんに楽しんでいただけるようスタッフ一丸となって準備し、ご来場を心よりお待ちしております。

四国スカイランニング協会 代表理事 杉本 雅昭

大会概要

大会名	大歩危国見山スカイレース2022（第二回） ・スカイランニング中四国選手権 スカイ部門 ・スカイランニング四国地域シリーズ
開催日	2022年11月27日（日）
開催場所	徳島県三好市 国見山
主催	四国スカイランニング協会
主管	一般社団法人日本スカイランニング協会
運営協力	三好市、三好ジオパーク構想推進協議会、一般社団法人三好市観光協会、徳善自治会 有宮神社氏子一同、阿弥陀堂一同、徳善神代踊り保存会、 徳善襖絵からくり舞台実行委員会、集落をぶらぶら 里山のぼり はにかむ体験、 大歩危駅活性化協議会、やましろ戦国 国ざかいめぐりの会
協賛	rig footwear、MEDALIST、GURNEY GOO、ACTCYC、(株)ちいおりアライアンス
カテゴリー	① 男子 ② 女子
距離／標高差	12.8km／標高差1,209m（累積1,436m）
表彰	男女別上位1位～10位（副賞は3位まで） 男女別40歳以上の年代別1位 中四国選手権として男女別1位～3位（中四国在住者。優勝者は翌年のJSAの強化指定選手として選抜&四国シリーズ戦全戦への招待等の得点）
計測	株式会社イツリーズジャパン
大会事務局	人力企画 徳島県海部郡美波町東由岐字大池170-5 TEL.050-5470-2917

スケジュール&注意事項

08:00 指定駐車場開場（下名小学校特設臨時駐車場）

- ・大歩危駅周辺には駐車場がありません。応援者も下名小学校特設臨時駐車場をご利用ください。
- ・下名小学校の駐車場入口には緑色のビブスを着用した誘導員がいます。駐車場所はスタッフの指示に従ってください。

08:00 受付開始（下名分館前。下名小学校特設臨時駐車場の入口付近です）

- ・必ずマスクを持参し、レース以外で他者と接近する際は常にマスクを着用してください。
- ・受付場所でまず手指消毒してください。受付では計測リストバンド、ゼッケン1枚（腹部前面に付けること。折り畳み不可。ジャケット着用する場合はジャケットの上に付けてください）、安全ピン4個、手荷物預け用ビニール袋1枚をお渡しします。
- ・更衣室は下名小学校となりにある「下名分館（公民館）」の指定部屋をご利用いただきます。

09:00 開会式・競技説明（下名分館前）

- ・開会式では、密にならないように適当な間隔を空けてください。
- ・開会式終了後、各自自走にてスタート地点に移動（約1km）。

09:20 手荷物預かり、スタート準備（歩危マジャンクション）

- ・スタート地点の「歩危マジャンクション」で手荷物を預かります。受付でお渡しするビニール袋に入れてお預けください。貴重品は各自で管理してください。
- ・スタートリストに掲載しているスタート時間の5分前までにスタート地点にお越しください。

10:00 順次スタート（歩危マジャンクション）

- ・一人ずつスタートするインターバル形式。各自のスタート時刻は表紙に記載している「スタートリスト」のQRコードでご確認ください。
- ・必携装備品（ジャケット。雨天時はレインウェア）をチェックします。ジャケットを携行していない方は失格とし走行不可。

ゴール後（歩危マジャンクション）

- ・飲物、参加賞、炊出券、ご自身の荷物を受け取ってください。
- ・表彰式までは自由行動です。炊出は歩危マート2号店でご用意しています。
- ・記録証は電子記録証となります。大会当日の夜に大会HPに掲載するリザルトページからリンクできます。

13:40 ゴール制限

14:00 表彰式（下名小学校）。表彰式の無断欠席者は失格となります。先に帰る方はスタッフにお申出ください。

14:30 終了

参加者・応援者の方は次ページの競技規則を必ずご確認ください。本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守して開催されます。また本大会はJSA（日本スカイランニング協会）公認のスカイランニングレースであり、2022JSA競技規則が適用されます。

競技規則

1. 競技者・応援者の規範

1-1. 自然環境への配慮

- ・競技者はコースのマーキングをたどり、またレース中にエイドステーション以外でゴミを捨ててはならない。
- ・コース上及び全区域で動植物、菌類、岩石などを採取、損傷してはならない。
- ・トイレは大会が指定したトイレを使用すること（コース上はエイド近くの災害用トイレに用意してある携帯トイレを使用。使用した携帯トイレはテント内の処理箱に捨てることことができる）。
- やむを得ないときは各自で携帯トイレを使用し、紙を使った場合は必ず持ち帰らなくてはならない。

1-2. 安全への配慮

- ・競技者は自らの意志でリタイアでき、またレースディレクターもしくは医療スタッフによりリタイアを強制されることがもある。
- ・緊急事態を除きリタイアできる場所は、エイドステーション、徳善阿弥陀堂、林道川崎国見山線の登山口とする。
- ・競技者は怪我をしたり疲労困憊状態になったりしている他の競技者を救護支援しなければならない。大会審判員はこの支援に費やされた時間を考慮に入れる。
- ・レースディレクターやチェックポイントのスタッフはコース上のいかなる場所であっても競技者に ウインドブレーカーもしくは他の必携ウェアや装備を装着するように強制することができる。

1-3. 一般利用者や他の参加者への配慮

- ・コース内で前方のペースが遅い選手を追い抜く場合は「はい！」等と声をかける。声をかけられた選手はコースから速やかによけて進路を譲らなくてはならない。
- ・コース幅の狭い場所や滑落の危険がある場所（黄色のカラーテープが横貼りされている場所）では追い抜きをしてはならない。
- ・コースは大会で占有をしているものではなく、一般利用者も使用していることを十分に理解し、その通行を妨げてはならない。
- ・スタートしてから約 600m にある徳善屋敷・徳善阿弥陀堂下の舗装路区間は一般車両の通行があるため、道路への飛び出しはせず、通行には十分に注意をすること。
- ・車道通行時は左端通行をすること。

1-4. 障害のある方へ

- ・追い抜きの際の声かけに気づくことが難しい聴覚障害がある選手の場合は、他の選手にも障害が分かるよう前部・背部にサインを表示する必要がある。
- ・足元の路面状況の確認が難しい視覚障害のある選手の場合、長さ 3 m 程度の誘導棒（物干し竿のような硬い棒）で選手の前後に 2 名以上の伴走者をつけなければならない。

1 - 5. 応援者の方へ

- ・車は指定駐車場（下名小学校）に駐車すること。
- ・競技の公平性を保つため、大会が指定するエイドステーションの半径 50 メートルの範囲外では選手サポートをすることはできない。
- ・応援にあたっては自己責任での行動ということを十分に理解し、行動中の自己の安全には十分注意しなくてはならない。
- ・参加選手と同様に登山のマナー・ルールを守り、ゴミを拾うなど登山道の美化に努めなくてはならない。

2. 罰則

2 - 1. ペナルティ

以下のことに対して 3 分のペナルティから失格までの罰則が適用される。

- ・エイドステーションの外でゴミを捨てた場合。
- ・（エイドステーションなどの指定された場所ではない）認可されていない場所でサポートを受けた場合。
- ・自発的であってもそうでなくても、レースコースの標識に従わなかった場合。
- ・ゼッケンが見えない場所にあたり、許可なく改ざんしたりした場合。
- ・フライングスタートした場合。
- ・助けを必要としている他の競技者を助けないなど、スポーツマンらしくない振る舞いをした場合。
- ・必携とされているものを携行、もしくは指示されても使わなかった場合。
- ・運営団体や審判員の指示に従わない場合。

2 - 2. 失格

失格となるのは以下の場合である。

- ・指定駐車場ではない場所に駐車した場合。
- ・表彰式に正当な理由なく出席しなかった場合。
- ・ドーピングテストを受けるのを拒否したり、テストで陽性が出た場合。
- ・追い抜こうとする選手の進路を故意に妨害した場合。

3. 装備

3 - 1. 必携装備

- ・ゼッケン & 計測用リストバンド * 当日受付で配布。ゼッケンは必ず前部（腹部）に折りたたまず付ける。
- ・シューズ（スカイランニングに適したもの）
- ・スカイランニングやスピード登山に適した服装
- ・防寒用ジャケット（雨天時は防水ジャケット等の雨具）
- * 仮装は不可
- * 当日の気候によって変更がある場合がある。変更の場合は開会式で最終アナウンスが行われる。

3 - 2. 推奨装備

- ・水分
- ・補給食
- ・ファストエイドキット
- ・携帯電話
- ・携帯トイレ
- ・軍手類
- ・帽子など寒さ暑さ対策
- ・路面凍結時はマイクロランポン

3 - 3. 禁止装備

- ・サンダル類
- ・イヤホンやヘッドホン類
- * ポールの使用は可とするが、路面等の保護のため先端にはカバーをつけなければならない。

4. エイドステーション・救護体制

- ・エイドステーション(林道合流点。往復で2度通る)：水、スポーツドリンク、個包装菓子（1回の通過毎紙コップ2杯、個包装菓子3個まで）
- * 応援者による私的サポートは、エイドステーションの半径50m以内であれば可能とする。
- ・救護：歩危マジャンクションにて待機。

5. 制限時間

- ・関門（国見山山頂）12時。制限時間内に通過できなかった者は先に進むことができず、来た道に戻る。
- ・ゴール制限時刻は13時40分。不通過者は順位がつかない。

6. 救助及び医療援助の体制

- ・競技が安全に行われるために、大会側では道迷い防止のためのコースマーキングと転滑落危険個所での注意喚起のためのサインの表示と、救助及び医療援助体制を準備する。選手はスカイランニングという自然の中で行われる競技に危険が伴うことを十分に認識し、ケガ、病気、事故などに対して、自己の責任において大会に出場する。
- ・応急処置の救護所は歩危マジャンクションに設置され、看護師等が待機する。これらの救護所は大会本部と一般電話、携帯電話もしくは無線機で連絡をつなげる
- ・応急処置は、参加登録の有無に関わらず、本大会に関係するあらゆる人々を危険な状況から救助するために行うものとする。
- ・医師と救護者には、これ以上競技を続けられない選手に、競技を中止させる権限があり、中止となった場合計測用

リストバンドを回収することとする。

・レースを中止した場合、その場からフィニッシュ会場まで徒歩で戻る。徒歩が不可能な場合は、スタッフに収容車を要請してフィニッシュ地点まで戻ることができる。タクシーなどを呼ぶ場合の費用は自己負担とする。

・救護される方にその必要があると判断された場合、救助隊を呼ぶことがある。

この場合にかかった費用は救護された方の負担とする。

・大会本部やスタッフに連絡がとれなかった場合、「119」などで直接救急サービスを呼び出してもかまわない。ただし、その際は本大会の参加者であることを告げ、走行距離看板等を目安に自分の位置を告げる。

・大会主催者の加入する選手の事故・傷病への補償をする傷害保険の範囲は以下とする

・死亡、後遺障害 3,000,000 円

・入院（日額） 3,000 円

・通院（日額） 2,000 円

7. リタイアと通過人数

・選手は必ず競技中リストバンド及びゼッケンを装着しなければならない。

・リタイアを申請できる場所は、原則としてエイドステーション、徳善阿弥陀堂、林道川崎国見山線の登山口でなくてはならない。

・リタイアする場合は、必ず近くのスタッフにゼッケンナンバーを告げ、その場でリストバンドをスタッフに返却することとする。

・リストバンドはフィニッシュ後に歩危マジャンクションにて回収し帰還確認とする。

・リストバンドを紛失した場合は 2,000 円前後の実費を請求することがある。

・リストバンドが返却されない場合、大会中の行方不明者として取扱われ、大会・警察・消防の捜索隊出動となる場合がある。

・スタート時は、各人のスタート時間通りのスタート（計測機へのタッチは不要）。ゴール時はリストバンドを計測機にタッチさせること

8. 責任

8-1. 主催者の責任

・参加者の故意によらないコース上の器物破損（対動植物、対物の事故、登山道の崩壊など）

・コース上のマーキング及び案内看板の設置

・スタッフの安全管理

8-2. 選手の責任

・このレースの参加にあたって上記以外のすべてを自己責任とする。

9. 大会中止等の判断とその周知について

下記の事由により大会の開催・継続が困難と大会本部が判断した場合は、大会中止又は大会途中の中断をする。
なお、大会開催日の延期はない。

- ・気象警報発令時（大雨特別・暴風特別・大雨・洪水・暴風等）
- ・コース途中における崖崩れ、落石など参加者の安全を確保できないと判断される場合。
- ・「土砂災害警戒情報」が発表された場合。
- ・大会開催に当たって、安全面で問題ない場合でも、登山道の状況が多数の参加者の利用に耐えることができないと判断した場合、歩行区間の設定やコースの変更、大会中止の判断をする可能性がある。
- ・噴火、地震、風水害、降雪、事件、事故、疫病などによる開催縮小、中止、通知方法などについてはその都度大会本部判断し決定する。
- ・熊・蜂等、有害鳥獣・病害虫の出没により参加者の安全を確保できないと判断される場合。
- ・大会中止の判断は大会当日又は前日までに大会ホームページにて発表する。
- ・レース中に中止・中断を判断した場合、参加者へは直近のスタッフが通知する。
- ・大会中止・中断の場合でも原則として参加費の返金はしない。

10. 大会出場中の著作権、掲載権

- ・イベント中の写真、映像、記録等について、報道、出版物、インターネットなどへの掲載権は主催者に属す。

11. JSA 公認

- ・本大会は JSA（日本スカイランニング協会）公認のスカイランニング競技会である。

12. その他

【コース上の表示について】



マーキングテープ（オレンジ色）

約 30m～50m 毎に設置しています。林道区間の工事をしているところはありませんが、林道に沿って走ってください。



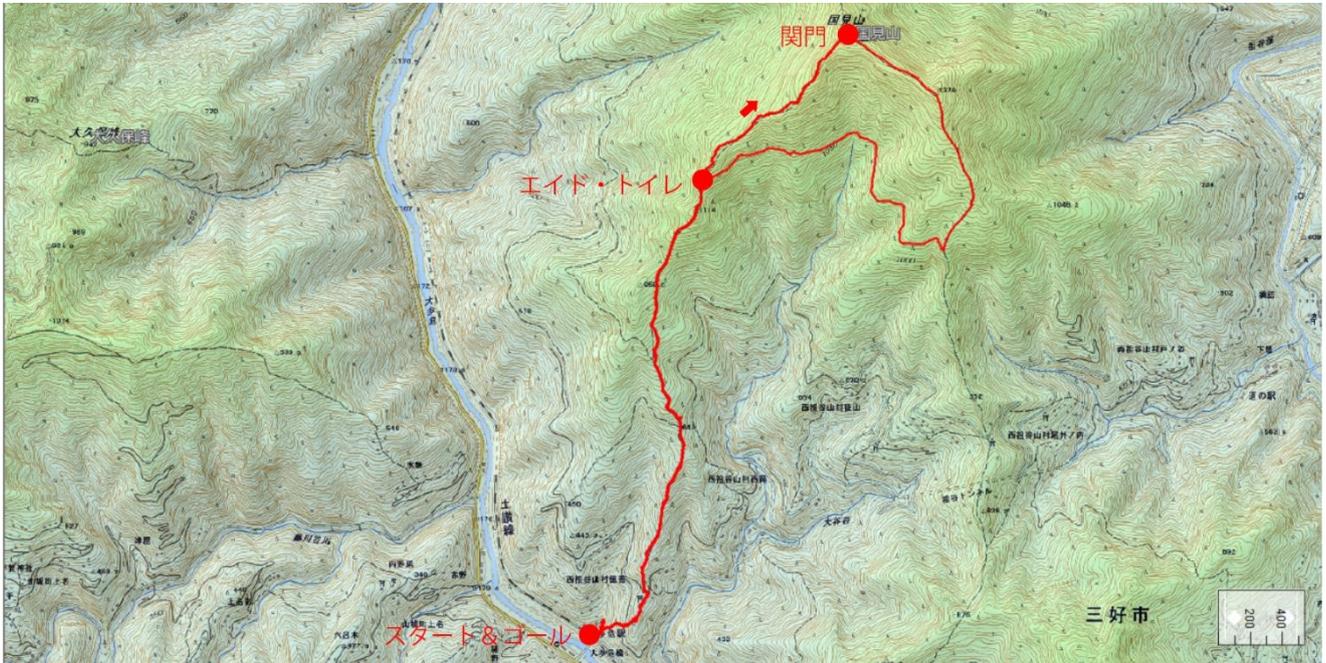
矢印看板

誘導員がいる場所に設置。緊急対応で誘導員が不在の時にはこの矢印の方向に進んでください

コース図・コース断面図

地図画像：山旅倶楽部

青線-舗装路、赤線-トレイル、黄線-林道（未舗装）



会場図

会場全体図



詳細図① 下名小学校 (指定駐車場、受付、開会式、表彰式)



詳細図② 歩危マジャンクション (スタート&ゴール、手荷物預かり、炊出)

